

第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン 推進施策点検・評価表（令和3年度分）

～基本理念～

安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに成長できるまちづくり

基本目標 1 安心して子育てできる幼児教育・保育サービスの提供

- | | | |
|-----------|---------------------------|-----|
| 推進施策1-(1) | 教育・保育内容の質の向上 | P.1 |
| 推進施策1-(2) | 認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進 | P.3 |

基本目標 2 子育て家庭への生活支援と相談機能の充実

- | | | |
|-----------|-----------------------------|------|
| 推進施策2-(1) | 地域における子育て支援の推進 | P.5 |
| 推進施策2-(2) | ワーク・ライフ・バランスの推進 | P.7 |
| 推進施策2-(3) | ひとり親家庭の自立支援 | P.9 |
| 推進施策2-(4) | 障がい児など特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実 | P.11 |

基本目標 3 子どものための居場所の確保・充実

- | | | |
|-----------|-----------------------------------|------|
| 推進施策3-(1) | 安全・安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備 | P.13 |
| 推進施策3-(2) | 放課後の子どもの居場所の確保
【新・放課後子ども総合プラン】 | P.15 |

基本目標 4 妊娠・出産・子育て期における切れ目のない支援の充実

- | | | |
|-----------|--------------------------|------|
| 推進施策4-(1) | 妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援 | P.17 |
| 推進施策4-(2) | 子どもの健康の保持と増進 | P.19 |

基本目標 5 地域のみんなで子どもを見守り・育てる体制の強化

- | | | |
|-----------|-----------------------|------|
| 推進施策5-(1) | 子どもの貧困対策の推進 | P.21 |
| 推進施策5-(2) | 虐待などのない社会づくりに向けた取組の推進 | P.23 |

推進施策2-(1) 地域における子育て支援の推進

基本的な考え方 (今後の方向性)	地域での子育て支援の拠点となる地域子育て支援センターの職員のスキルの向上を図り、相談支援の充実に努めるとともに、子ども家庭総合支援拠点や地域の民生委員・児童委員、ボランティア等と連携し、子育て家庭の孤立化の防止に努めます。また、ファミリー・サポート・センターにおいては、援助会員数の増加のために更なる周知を行い、援助会員が活動しやすい環境の整備に努めます。
---------------------	--

◆ 主要な取り組み		
項目	内容	主な事業等 【 】は関連事業一覧の通番
子どもや育児に関する相談機能の充実	<p>(1) 地域子育て支援センターにおいて、子育ての経験や知識を持った職員が育児に関する相談を受け付け、子育てへの不安や負担などの軽減を図ります。</p> <p>(2) 地域子育て支援センターなどの職員の専門性の向上や保健センターなど関係機関との連携強化を図ります。</p> <p>(3) 青少年育成センターにおいて、電話やメール、面接により受け付け、適切な指導や助言を行うことで、青少年の健全育成に寄与します。</p>	<p>【24】 地域子育て支援センター事業（育児不安等への相談・援助）</p> <p>【25】 利用者支援事業（子育て支援員研修の実施）</p> <p>【26】 青少年非行防止・育成事業、他</p>
子育てに必要な知識の普及・啓発	<p>(1) 地域子育て支援センターにおいて子育てなどに関する講座を開催し、子育てに必要な知識の普及・啓発に努めます。</p> <p>(2) 父親が育児についての知識を取得できるよう、父親向けの親子講座などを開催し、父親の育児参加を促進します。</p> <p>(3) スマートフォンに対応した宮崎市子育てナビや宮崎市ホームページをはじめ、様々な媒体を活用して情報提供の充実に努めます。</p>	<p>【33】 地域子育て支援センター事業（親子講座の開催）</p> <p>【34】 母子保健・地域子育て情報配信事業、他</p>
地域で子育てを支援する体制づくり	<p>(1) 地域子育て支援センターで民生委員等との交流の機会をつくり、地域住民や団体との支援・協力関係を構築し、地域での親子の孤立を防止します。</p> <p>(2) 地域住民が子育てを支援するファミリー・サポート・センター事業の推進や保育施設などによる一時預かり事業を充実させ、保護者の育児負担の軽減に努めます。</p> <p>(3) 地域まちづくり推進委員会や地区社会福祉協議会などによる、子育て支援活動を支援し、地域における子育て支援体制の強化を図ります。</p>	<p>【41】 ファミリー・サポート・センター管理運営事業</p> <p>【50】 地域コミュニティ活動交付金事業、他</p>

◆ 推進施策の目標値と実績						
項目	第一期		第二期			
	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 中間目標値	R6年度 最終目標値
1 地域子育て支援センター延べ相談件数	8,932 件	7,811 件	6,458 件	5,554 件	8,352 件	8,078 件
2 地域子育て支援センター親子講座の参加者数	50,145人	42,769人	27,964人	27,628人	46,893人	45,345人
3-① 地域子育て支援センター延べ利用者数	140,345人	121,416人	86,269人	76,796人	131,244人	126,936人
3-② ファミリー・サポート・センター延べ活動件数	2,691 件	3,434件	7,412件	9,865 件	3,399 件	3,818 件

◆ **新型コロナウイルスの影響等**

・感染拡大により利用者が減少し、目標を達成することができなかったが、高岡地域子育て支援センター（直営）でオンラインによる子育て相談を開始した。
 ・感染拡大により、/各講座の定員を減らしたため、目標達成できなかった。
 ・新型コロナウイルス感染拡大の第4波（5/6～5/31）と第5波（8/7～9/30）の施設休館、第6波中は施設は休館しなかったものの、地区交流センターで実施している4つの子育て交流ひろばは休館となり、開設日数が減少したこと、また利用者による利用控えもあり、目標を達成することができなかった。

◆ **施策の推進状況についての点検・評価 / 推進施策2－（1）**

令和3年度の施策の推進状況 はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない () 評価保留
この施策への取組について、 ご意見をご記入ください。	（空欄）	

推進施策2-(4) 障がい児など特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実

基本的な考え方 (今後の方向性)	障がいや発達の違いなどにかかわらず、すべての子どもたちが自分らしく生きていく力を身に付けることができるよう、発達の段階に応じた継続的な支援が求められています。 子ども一人ひとりが、その特性や国籍・文化等に応じた適切な支援を受けられるよう、保護者の思いに寄り添いながら、福祉・保健・医療・教育分野の関係機関で連携を図り、子どもの発達に応じた継続的な支援ができる体制の充実に努めます。
---------------------	---

◆ 主要な取り組み		
項目	内容	主な事業等 【 】は関連事業一覧の通番
1 発達に関する相談機能の充実	(1) 乳幼児健康診査や乳幼児発達相談などの機会を通じ、保護者に子どもの成長・発達に関する適切な情報を提供し、早期発見・早期支援に努めます。 (2) 研修会やイベントなどを通じて市民の障がいに対する理解を促し、地域で見守りが図られる関係づくりを支援します。 (3) 早期相談・早期支援において、重要な役割を果たしている保健師・相談支援専門員・保育士などの専門職に研修の機会を提供し、専門性の向上を図ります。	【97,98】 幼児集団健康診査事業 【100】 乳幼児発達相談事業、他
2 専門的な医療の提供	(1) 障がいのある子どもが適切な療育を受けることができるよう、宮崎市総合発達支援センターの機能充実、関係機関との連携強化を図り、早期療育体制の充実に努めます。	【105】 宮崎市総合発達支援センター指定管理料
3 一人ひとりのニーズに対応した療育やサービス等の提供	(1) 宮崎市総合発達支援センターなどによる支援体制の強化や教育相談センターの相談機能の充実を図り、障がいのある子どもに対する支援の充実に努めます。 (2) 宮崎市総合発達支援センターなどから講師を派遣して研修会を実施するなど、特別支援教育に関わる教職員などの資質の向上に努めます。 (3) 学習指導や生活指導などについての支援を行う、スクールサポーター等を学校へ派遣し、児童生徒のニーズに応じた教育を推進します。また、外国籍の子ども等が在籍する小学校及び中学校に通訳を派遣し、日本語の修得や円滑な日常生活が営めるよう支援します。	【106】 宮崎市総合発達支援センター指定管理料 【115】 特別支援教育学び総合支援事業 【133】 障がい児等療育支援事業 【122】 帰国・外国人児童生徒サポート事業、他
4 多機関連携による支援の整備	(1) 特別支援教育連絡会や宮崎市自立支援協議会などにおいて、福祉・保健・医療・教育の各分野が連携できる体制の構築に努めます。また、発達に不安を抱える保護者へ寄り添い、支援する団体やボランティア等との連携も図っていきます。	【123】 自立支援協議会活動推進事業 【125】 特別支援教育管理事業、他

◆ 推進施策の目標値と実績						
項目	第一期		第二期			
	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度中間目標値	R6年度最終目標値
1 乳幼児発達相談延べ人数	274人	257人	179人	254人	290人	290人
2 宮崎市総合発達支援センター利用者数(診療部)	22,364人	22,320人	22,558人	22,800人	22,000人	22,000人
3-① 授業スタッフ、スクールサポーター、生活・学習アシスタントの配置人数	143人	145人	139人	146人	136人	136人
3-② 障がい児等療育支援延べ支援件数	863件	723件	637件	600件	900件	900件
4-① 特別支援教育連絡会の開催回数	65回	52回	41回	67回	50回	50回
4-② 宮崎市自立支援協議会(子ども支援部会)の開催回数	8回	10回	7回	10回	12回	12回

推進施策3-（1）

安全・安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備

基本的な考え方 (今後の方向性)	子どもの遊びをめぐる現状を踏まえ、子どもの心身の健やかな発達を守るため、安全・安心で魅力ある遊び場の確保や遊びの活動拠点となる児童館・児童センターなどの施設の充実・改善を図るとともに、様々な世代が同じ場所でふれあい、人と人とのつながりを再認識し、地域の活動を推進する機会の充実に努めます。
---------------------	--

◆ 主要な取り組み		
項目	内容	主な事業等 【 】は関連事業一覧の通番
1 児童館・児童センターなどにおける児童健全育成の充実	(1) 地域の子どもたちが自由に来館して、安心して遊ぶことができる児童館・児童センターなどを活用し、子ども同士のふれあい事業などの充実に努めます。 (2) 自治会などの地域団体と連携したイベントなどを実施する他、地域の高齢者の経験を活かした行事を開催し、世代間交流を促進します。	【139】児童館・児童センターの管理運営 【140】生き活き地域子育て活動応援事業、他
2 子どもの遊び場の確保	(1) 心身ともに豊かな人間形成を育むために、公園の整備や遊具などの維持管理を行い、子どもたちが安全で快適に遊べる環境づくりに努めます。 (2) 夏季における子どもの遊び場や親子のコミュニケーションの場を確保するために、市の児童プールを開放し、子どもの屋外での体験活動を支援します。	【144】ちびっ子広場整備補助事業 【145】公園の維持管理 【148】児童プール運営事業、他
3 教育支援教室の充実	(1) 継続して教育支援教室を6か所設置し、不登校児童・生徒の社会的自立に向けて支援します。	【154】不登校児童生徒対策事業
4 つながり・見守りの仕組みの充実（子ども食堂への支援）	(1) 子ども食堂コーディネーターを設置し、子ども食堂の取組の周知、拡大に努めます。また、地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員、地域のアンテナ役として活動する福祉協力員などと連携することで、子ども食堂を入口として、子どもを適切な支援につなぐ体制づくりに努めます。	【155】子ども食堂ネットワーク応援事業、他

◆ 推進施策の目標値と実績						
項目	第一期		第二期			
	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 中間目標値	R6年度 最終目標値
1-①児童館・児童センター延べ利用者数	322,880人	293,342人	150,821人	173,607人	324,000人	326,000人
1-②児童館・児童センターで実施した講座・行事等の参加者数	5,307人	4,868人	2,164人	3,191人	6,680人	6,680人
2-① 児童遊園、児童広場、ちびっ子広場の数	51か所	51か所	51か所	49か所	51か所	51か所
2-② 児童プール延べ利用者数	18,155人	15,773人	開催中止	9,202人	16,151人	12,507人
3 教育支援教室の設置数	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所
4 子ども食堂に取り組んでいる地域数	7地域	17地域	17地域	19地域	19地域	22地域

◆ 新型コロナウイルスの影響
・児童館・児童センターについては、感染拡大の第4波（5/6～5/31）と第5波（8/7～9/30）の約3ヶ月間施設を休館したが、令和4年1月からは赤圏域に指定されても感染対策を講じて開館する方針で運営することとした。 ・児童プールについては、7月8日から8月24日まで開設予定であったが、感染拡大を受け8月5日をもって閉鎖した。

◆ 施策の推進状況についての点検・評価 / 推進施策3－(1)

<p>令和3年度の施策の推進状況 はいかがでしょうか</p>	<p> <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 </p>
<p>この施策への取組について、 ご意見をご記入ください。</p>	

推進施策4-(1) 妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援

基本的な考え方 (今後の方向性)	保護者が安心して妊娠・出産・育児ができるよう、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援を行うため、保健センターや産前産後サポート室、医療機関、地域の民生委員・児童委員や今後設置予定の子ども家庭総合支援拠点との連携を強化し、相談体制の充実を図ります。
---------------------	---

◆ 主要な取り組み		
項目	内容	主な事業等 【 】は関連事業一覧の通番
1 妊娠・産後の支援 (健診・助成)	(1) 不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減するため、不妊治療費の助成を行い、安心して治療に取り組めるよう支援します。 (2) 妊婦及び産婦健診費用の助成を行い、妊産婦が安心して受診できるよう支援します。	【166】不妊治療支援事業 【167】妊婦健康診査事業、他
2 妊娠・産後の支援 (訪問・相談・教育)	(1) 安心して妊娠・出産期を迎えるために、妊娠届出の際に保健師などの専門職員が親子(母子)健康手帳の交付を行い、妊娠初期から妊婦健康診査の必要性などの保健指導や妊娠・出産に関する情報提供を行います。 (2) 産前・産後からの切れ目のない支援を行うため、母子保健事業に関わる保健センター・医療機関・学校・児童福祉施設・民間団体などとの意見交換や情報の共有化などを行い、連携強化を図ります。	【174】親子(母子)健康手帳交付事業 【175】みやざき安心子育て包括支援事業、他
3 小児救急医療体制の確保	(1) 宮崎市郡医師会等の関係団体と連携して、在宅当番医制や夜間急病センターの運営など、休日・夜間における初期救急医療体制や二次救急医療体制を確保します。また、同センターの運営体制を維持するため、小児救急医療の適正受診を促す取組を実施します。	【180】宮崎市夜間急病センター小児科管理運営事業

◆ 推進施策の目標値と実績						
項目	第一期		第二期			
	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度中間目標値	R6年度最終目標値
1-① 特定不妊治療費助成件数	386件	427件	403件	657件	400件	400件
1-② 産婦健診受診率	86.2%	89.8%	96.3%	96.1%	90.0%	93.0%
2-① 親子健康手帳交付数	3,400件	3,403件	3,200件	3,103件	3,400件	3,400件
2-② 母子訪問指導数(延べ)	5,544人	5,576人	5,524人	4,900人	6,000人	6,000人
2-③ 母子保健指導数(延べ)	14,466人	14,648人	14,792人	15,036人	15,000人	15,000人
3 夜間急病センター開設日数	365日	365日	365日	365日	365日	365日

◆ 新型コロナウイルスの影響
<ul style="list-style-type: none"> ・母子訪問指導については、保健師がコロナ対応も担っており、訪問できる日数が限られたことも影響し、訪問数が例年より減少している。 ・母子保健指導については、上記の訪問できる日数が限られた分、電話や来所等に対応し、例年より件数が増加している。

◆ 施策の推進状況についての点検・評価 / 推進施策4－(1)

<p>令和3年度の施策の推進状況 はいかがでしょうか</p>	<p>() 順調である () どちらかといえば順調である () あまり順調でない () 順調でない () 評価保留</p>
<p>この施策への取組について、 ご意見をご記入ください。</p>	

推進施策4-(2) 子どもの健康の保持と増進

基本的な考え方 (今後の方向性)	子どもの健康の保持と増進を図るため施策の充実に取り組むとともに、病気や障がいなどで支援が必要な子どもの保護者に対して正しい知識の啓発や、保健・医療・福祉などの関係機関との連携を図り、支援体制の充実に努めます。
---------------------	--

◆ 主要な取り組み		
項目	内容	主な事業等 【 】は関連事業一覧の通番
1 子どもの医療費助成	(1) 未就学児の医療費の無料化を継続するとともに、医療費助成の対象を小・中学生に拡大し、子どもの健康の維持を図ります。	【181】子ども医療費助成事業 【182】ひとり親家庭等医療費助成事業、他
2 子どもに対する感染症対策の充実	(1) 定期・任意予防接種の充実に努めるとともに、地域の医療機関と連携を図り、感染症の発生状況や予防接種に関し、情報共有を図り、市広報やマスメディアなどを通じて、市民への確かな情報周知をすることで、効果的な感染症予防対策を推進します。	【184】乳幼児等定期予防接種事業、他
3 子どもの健康管理の推進	(1) 地域の医療機関などと連携し、健康診査や保健指導などを実施し、健康の保持増進を支援します。 (2) 乳幼児健康診査や乳幼児健康相談などにおいて、保護者に疾病や発達についての情報提供を行い、保護者自身が健康の向上に関する知識と理解を深め、健康的な生活を送ることができるよう支援します。	【187,188】幼児集団健康診査事業 【189】乳幼児健康診査事業、他
4 思春期保健対策の充実	(1) 学校・関係機関などとの連携の下、児童生徒や保護者・教師に対して思春期におけるタバコ・酒・薬物・生活習慣の問題や性についての正しい知識の普及を進めます。また、メディアの適切な利用を促すため、小中学校へメディア安全指導員の派遣を推奨します。 (2) 学校や助産師会、医療機関などの関係機関と連携して相談体制の強化を図るよう努めます。	【211】SNS相談事業 【212】思春期健康教育推進事業、他

◆ 推進施策の目標値と実績						
項目	第一期		第二期			
	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度中間目標値	R6年度最終目標値
1 子ども医療費助成事業の継続	—	助成対象は未就学児	対象を小中学生までに拡大	継続	継続	継続
2-① 予防接種率（麻しん、風しん混合ワクチン）1歳	95.4%	97.0%	99.2%	97.3%	97.0%	100.0%
2-② 予防接種率（麻しん、風しん混合ワクチン）5-6歳	96.8%	93.7%	95.1%	94.9%	97.0%	100.0%
3-① 3歳6か月児健康診査受診率	97.5%	96.9%	101.6%	95.7%	98.0%	98.5%
3-② 虫歯のない3歳児の割合	87.3%	90.1%	87.5%	91.4%	90.0%	92.0%
4 思春期健康教育推進事業における講師派遣回数	92回	85回	58回	63回	92回	92回

◆ 新型コロナウイルスの影響
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳6か月児健康診査については、コロナ陽性者や濃厚接触者を理由に自宅待機や外出自粛、集団健診の受診控え等が生じる中で、感染防止対策を徹底しながら会場の見直しや健診回数を増やす等、効率よく健診を運営、実施した。 ・ 思春期健康教育推進事業については、感染防止対策のため、7回の派遣が中止となった。

◆ 施策の推進状況についての点検・評価 / 推進施策4－(2)

<p>令和3年度の施策の推進状況 はいかがでしょうか</p>	<p> <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 </p>
<p>この施策への取組について、 ご意見をご記入ください。</p>	

推進施策5-（1）子どもの貧困対策の推進

<p>基本的な考え方 (今後の方向性)</p>	<p>子どもたちが将来に夢や目標を持って、未来に向かい挑戦できるような学びの機会の提供や環境づくりのための「子どもの学びの支援の充実」、すべての子どもとその保護者が健康的な生活を送るための「家庭生活の支援の充実」、保護者が仕事と子育てを両立し、経済的な生活の安定を図る環境づくりのための「生活基盤の確立に向けた支援の充実」、子どもたちを地域社会全体で見守り支えるための居場所づくりや学校をプラットフォームとした子どもを地域ぐるみで育てていくための「つながり・見守りの仕組みの充実」といった4つの視点を重視した施策を推進します</p>
-----------------------------	--

◆ 主要な取り組み		
項目	内容	主な事業等 【 】は関連事業一覧の通番
1 子どもの学びの支援の充実	<p>(1)生活保護及び生活困窮世帯やひとり親家庭の子どもを対象に、学校や家庭以外の居場所を提供し、子ども一人ひとりの状況に応じた学習支援を行います。</p> <p>(2)スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を積極的に活用した相談体制を充実させることで、すべての子どもの学びの機会の確保と環境整備に努めます。</p> <p>(3)子どもの学習意欲向上や芸術文化への意識醸成を図り、豊かな心を育むため、子どもへの多様な体験や学習の機会の提供に努めます。</p> <p>(4)「幼児教育の無償化」について、すべての対象世帯が円滑に制度利用できるよう制度の周知や必要な手続き等を適切に実施し、幼児教育・保育の普及に努めます。</p>	<p>【216】ひとり親家庭等学習支援ボランティア事業</p> <p>【217】子どもの居場所づくり事業</p> <p>【219】小中学校スクールカウンセリング等事業、他</p>
2 家庭生活の支援の充実	<p>(1)出産前後における必要な知識や情報の提供の他、地域の医療機関と連携し、健康診査や保健指導を実施し、子どもと保護者の健康が守られるよう取り組みます。</p> <p>(2)子ども支援員が、支援が必要な環境に置かれた子どもの家庭に対し、家庭訪問や学校、病院等への同行を行い、学校や地域、関係機関と連携しながら、継続的な伴走型の支援を行います。</p> <p>(3)子どもとその家庭及び妊娠婦等を対象に、専門的な相談対応や、訪問等による継続的な支援業務を担う子ども家庭総合支援拠点を中心とした相談支援体制の在り方について検討を行います。</p> <p>(4)子どもが施設や里親から家庭等に戻った場合、子どもが安定した生活を継続できるよう、児童相談所や関係機関と連携しながら、親子の良好な関係を構築するための支援を行います。</p>	<p>【228】子ども支援員による継続的な伴走支援（事業名無）</p> <p>(3)、(4)については、事業化はしていないが、子育て支援課子ども家庭支援室において対応中</p>
3 生活基盤の確立に向けた支援の充実	<p>(1)ひとり親の父または母が、就職に有利な資格や経済的自立に結びつく資格を取得するために費用の一部または資格取得機関の生活費の負担軽減のための給付金を支給するなど、保護者の自立支援に努めます。</p> <p>(2)就労等により、保育時間後の預かりが必要な場合に、保育時間終了後も安心して子どもを預けることができるよう延長保育を行う施設を支援し、子どもが安心して過ごせる居場所として放課後児童クラブを開設するなど仕事と子育ての両立の支援に努めます。</p> <p>(3)経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品等の援助を行い、ひとり親家庭等に対し、児童扶養手当や医療費助成など、子育て世帯へ必要な経済的支援を行います。</p>	<p>【235】母子家庭等就業・自立支援事業</p> <p>【241】児童クラブ運営事業</p> <p>【246】児童扶養手当給付事業、他</p>
4 つながり・見守りの仕組みの充実【再掲】	<p>(1)子ども食堂コーディネーターを設置し、子ども食堂の取組の周知、拡大に努めます。また、地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員、地域のアンテナ役として活動する福祉協力員などと連携することで、子ども食堂を入口として、子どもを適切な支援につなぐ体制づくりに努めます。【再掲】</p> <p>(2)子どもたちが地域とのつながりを持ち、地域への誇りと愛着を感じられるよう、地域や家庭、学校などが一体となり、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりを進めるとともに、地域や家庭の教育力の向上を図ります。</p> <p>(3)妊娠届出等の機会を捉え、早期に支援が必要な妊娠婦を把握し、安心して出産・育児できるよう切れ目のない妊娠期から子育て期にわたる継続的な支援に努めます。</p> <p>(4)児童虐待の発生予防及び早期対応・継続的支援ができる体制づくりに努めます。</p>	<p>【259】産婦健康診査事業</p> <p>【264】宮崎市要保護児童対策地域協議会の設置（事業名無）</p> <p>【265】子ども食堂ネットワーク応援事業、他</p>

◆ 推進施策の目標値と実績

項目	第一期		第二期			
	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 中間目標値	R6年度 最終目標値
1-① 学習支援事業参加者数	122人	130人	128人	146人	165人	179人
1-② SSWによる対応実績のある学校の割合（小学校）	58.0 %	74.0 %	94.0 %	93.6 %	85.0 %	95.0 %
1-③ SSWによる対応実績のある学校の割合（中学校）	80.0 %	68.0 %	92.0 %	100.0 %	84.0 %	92.0 %
2-① 産婦健診受診率	86.2 %	89.8 %	96.3 %	96.1 %	90.0 %	93.0 %
2-② 子ども支援員による支援実績	27人	38人	45人	67人	79人	117人
3 資格取得者の就業率（※）	81.0%	69.0%	93.0%	90.0%	80.0%	85.0%
4-① 子ども食堂に取り組んでいる地域数	7地域	17地域	17地域	19地域	19地域	22地域
4-② 家庭教育学級受講者数	2,755人	3,373人	開催中止	1,855人	3,000人	3,000人
4-③ 地域の行事への参加率（小学生）	62.7 %	67.2 %	64.4 %	54.4 %	71.0 %	71.0 %
4-④ 地域の行事への参加率（中学生）	42.7 %	49.7 %	41.8 %	37.9 %	48.0 %	48.0 %

◆ 新型コロナウイルスの影響

・学習支援事業については、感染拡大防止のため、休校や時間変更等を行い、リモート授業も活用した。また、学生ボランティアの活動制限の際には、社会人ボランティアが対応した。

・1-②、1-③SSWによる対応では、新型コロナの影響で家庭訪問ができない時期があったが、電話相談に切り替えるなど、柔軟な対応で支援を継続し、中間目標値を上回る実績となった。

・2-②子ども支援員による対応についても、新型コロナの影響で家庭訪問ができない時期があったが、電話相談に切り替えるなど、柔軟な対応で支援を継続し、実績を増やしている。

・4-③、4-④地域の行事への参加については、感染拡大防止のため行事が中止となったことなどが要因と思われる。

◆ 施策の推進状況についての点検・評価 / 推進施策5-（1）

令和3年度の施策の推進状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

